

第57回 ゆふいん盆地まつり

令和7年8月15日～16日

15日雨天時…組旗祭・万灯籠火祭りは中止、ゆふいん盆地地花火は小雨決行。荒天時は8月18日に延期。
16日雨天時…佐賀盆踊り大会は中止。合間町車祭・稲入りは由布院小学校校体育館にて行います。

今日

城橋三角州特設ステージ

19:00～ゆふいん源流太鼓 由布院駅前

19:30～蝗攘祭 駅前・商店街周辺・城橋 三角州特設ステージ

20:20～万灯籠火祭り

20:45～第40回ゆふいん盆地花火 主催：ゆふいん盆地花火実行委員会

ゆふいん ラヂオ島
2025.8.15
20:30~ON AIR
ゆふいん 夏夜に 音楽祭
「夏に聞く 音楽の力」
FM 87.4
夏に聞く 音楽の力
ゆふいん ラヂオ島

土曜日

新町由布見通り特設会場

16時30新町由那巴里港0交通情報

19:00~合同慰霊祭

19:40～庭入り 塚原自治区

20:00~供養盆踊り大会

ゆふいんまつり実行委員会

■蝗攘祭（こうじょうさい）

この燈籠祭は、農家の方々がイナゴやウシカといった害虫に悩まされることなく、五穀豊穡でありますようにとお祈りをするお祭です。

別名「虫送り」「実盛送り」とも呼ばれています。町内の道々に飾られている蜀山人形は実盛（さねもも）どんと呼ばれ、行列の先頭では「実盛どんのこー死んだー、後あ、富貴万福利」と唱えています。

これは、歴史上でも有名な「源平の乱」に由来します。平家方

これは、歴史上でも有名な「源平の乱」に由来します。平家方の老将・奇跡実盛が、源氏方の手塚太郎光盛と二騎打ちの戦いとなった際に、実盛の馬が稲株につまずいて倒れ、そのまゝ光盛に討たれてしまいました。

極を恨んでいる実屋の惣雲がイナゴやウシカとなって田畑を荒らすの厄という伝説にちなみ、その雲を慰め、豊作を祈る行事として、この蝗蝻祭りが始まったと伝えられています。

通奏会が、山草の唄け声で驚き飛び出してきた吉虫と、吉
青年郎率いる笛の音色、後に、雄衆の松明の光がゆっく
と三角州へと誘導していきます。

短狭禁のタライマックスは、太松明への点火です。湯布院が誇る源流太鼓の勇壮な演奏と共に、麗人形の「実盛とん」は燃えさけ、天へと送られます。

行列の果物が配っているのは、町内の六所宮（宇奈岐日女神社）にて折悔されたお札です。と家庭の菜園や田圃などに立てて、虫除けと豊穡とを祈りくだす。

■万灯籠火祭り(まんとろうり ひまつり)

乙丸3、田中市、西石松、山崎、荒木、新町の人たちによつて、由布院盆地に明かりが灯されます。

■ゆふいん盆地花火(ゆふいんぼんちにはなび)

万灯籠の広がる駅裏一帯から花火が上ります。
「祖先さまを懐かしみ、感謝する心」をテーマに
土曜の夜に開催。花火の音と光が、家族の絆を

当日はゆいんラヂオ局で特別番組を放送します。

音楽とともに、しつとりとした暖かいなかではのびのびと
お楽しみ下さい。

■供養盆踊り大会（くようばんおどりのかい）
初盆供養の「合同慰霊祭」と「庭入り」から始まります

「雇入り」は、その方法を命ぜられて伝承している地区が持ち回りで行います。

その後は、各地区の属する子たちが、由布見通りを埋め尽くす世

焚盆屋トヘと移ります。
 今年は「二つ柏子」「まかせ」「左衛門」「蹴出し」の4つを隔り
 ます。盆踊りの唄を口説きと呼び、それに掛け合う様にして、

太鼓、合の手が加わります。合の手と隔り方を覚えたら、皆さんも先相模のためにぜひ、参加してみてください。